



THE INTERNATIONAL FOCUSING INSTITUTE

carrying life and thought forward

指名委員会の活用

この文書は2014年7月に暫定理事会(ロブ・フォックスクロフト Rob Foxcroft, ロバート・リー Robert Lee, シンシア・コールセン Cynthia Callsen)によって作成されたものです。

指名の過程を経た任命方法は、あまりよく知られていないかもしれない。おそらく、このプロセスに馴染みのない人には、多少の疑念を抱かれることは当然のことかと思われま

では、なぜこの方法をとるのか？

簡潔に言うと、私たちは世界に広範に渡って存在し、私たちの多くはお互いにそれほどよく知らないからです。私たちは世界規模で複数の国の人が混在したコミュニティなのです。多くの方は国際会議のために渡航する余裕がなく、もし参加できたとしても、お互いの言語で会話をすることはできませんでした。

現在の理事会は、方法としてフォーカシング指向の指名の過程の方が単なる選挙よりも“より民主的”であると信じています。とはいえ、民主的という言葉は多くの意味を持っています。私たちはそれが何を意味するかを言葉で表したいと思います。

- (1) 選挙では、多くの方は候補者についてのごく表面的に知っていることに基づいて投票をしなければなりません。まったく会ったことのない候補者について、信頼できるフェルトセンスを持つことは不可能です。選挙がまずい選択を導きうることはみなさんご存知の通りです。
- (2) 時に選挙は対立を生みます。指名委員会の活用によって任命が行われる場合、熾烈な競争は回避されますが、それに代わって選挙が行われる場合、気分の悪さや派閥といった遺物を残すこともあります。
- (3) 指名委員会は個々人を推薦するのではなく、相互に補完できる強みや素質をもった人たちからなるグループのバランスがうまくいくような選出をします。
- (4) 私たちの経験上、多くの素晴らしい人は自ら決して就任しようとはしませんでした。実際には大きな力はあるのですが、指名委員会は就任を躊躇するような謙虚であったり、忙しかったり、控えめな人にも自由にアプローチすることができます。
- (5) いい指名委員会はどんな時もこのコミュニティの気持ちや信念を念頭に置き、フォーカシングや相互リスニングの気長でゆとりあるプロセスに取り組むことでしょう。

上記5点を念頭に、私たちは現状において上記指名方式がいかなる選挙の方式よりもはるかに、より賢明でバランスのとれた尊敬される人たちからなるグループを理事会や評議会に任命する結果となるようなものであると判断しました。

指名委員会での話し合いによって、いい選択がもたらされることを私たちは信じています。